

委員会調査(研修)報告書

NO.

令和 5 年 7 月 26 日

胎内市議会議長

小野 徳 重 様

(報告者) 議会報編集特別委員会
委員長 八幡元弘

議会報編集特別委員会視察研修 について、
議会会議規則第110条により、下記のとおり報告します。

調査・研修 日 時	自 令和 5 年 6 月 29 日 至 令和 5 年 6 月 30 日 1 泊 2 日 (2 日間)	調査・研修 場 所	美里町役場 (宮城県)
調査・研修 事 項	議会報編集特別委員会行政視察研修 議会だよりの編集について		
調査・研修 出席者(参加者)	八幡元弘 笥智也 渡辺栄六 森本将司 坂上隆夫 増子達也 議会事務局 新保斎		
相手方(対応者)	(美里町) 鈴木宏通 佐野善弘 伊藤牧世 赤坂芳則 吉田二郎 鈴木恵悦 前原吉宏 佐藤俊幸 齊藤美穂		

調査の結果または概要

○宮城県美里町議会（6月29日(木) 13:30～15:00）

美里町議会は令和4年度町村議会広報でデザイン部門奨励賞を受賞しており、町村議会広報全国コンクールや宮城県町村議会広報選考会でも入賞するなど、デザイン性に優れた議会だよりを編集・作成している。

平成18年に議会広報に関する条例を制定し、議会だより編集特別委員会を設置し、全国議会広報誌の審査員をされている議会広報サポーターを講師に迎えて改良を進め、町民目線で分かりやすく見やすい広報にするよう努めている。

6名の委員で、年4回の発行に対して、議会定例会がない時期でも月2回編集会議を設け、様々な行事・イベントへの取材やスナップ写真撮影を2名1組の3組体制で委員自身が行っている。

大見出しや写真を多用してつかみのあるレイアウトとし視線誘導がある誌面作りを行うとともに、小学校高学年が読んで理解できるよう行政用語や議会用語をやめ表現を簡潔にするなど細部にわたって配慮していた。

調査の所見・感想

○宮城県美里町議会

人口が23,400人ほどで世帯数が9,300世帯と、まちの概要が当市と似ている町の議会だよりが、町民目線第一での編集作業であることに感銘を受けた。視察当日には美里町議長にも同席いただき、議会の動きと併せて議会だよりに寄せる思いもお聞きし、開かれた議会の発信に尽力されていると感じた。

誌面構成に向けた作業についても、一般質問において数種のレイアウトプランを準備し、ページ割振りに併せた原稿依頼をする、追跡記事や地域団体の紹介など、読む側が興味を持つよう努力されていた。中でも感想を書いてもらう記念品付きのクイズに10歳の子どもが応募するなど、幅広い年齢層に届いていることに驚かされた。

今回の視察において、市民に見てもらえる配慮が大切であること、それが議会の更なる発信に繋がることになると実感した。今後の議会報編集に参考にしたい。